



|| WSF ジャパン Q & A ||

—米国WSFとWSFジャパンはどのような関係ですか？

はじめに米国WSFについて、簡単に説明しましょう。正式名称は、Women's Sports Foundationといい、一九七四年にプロテニス選手ビル・ジーン・キングが有名女子選手には声をかけて設立しました。当時の米国はウーマンリブの全盛期。彼女は、プロ、アマを問わずスポーツ界の男女平等を実現するために、WSFを旗揚げしました。

『テニスの女王で終りたくない』という彼女の著書でWSFの存在を知った三ツ谷洋子さん（当時はフリーのスポーツジャーナリスト）が、

|| WSF ジャパンとは ||

WSFジャパン（女性スポーツ財団日本支部）は、米国のWSFをお手本として、日本の女性スポーツの発展、振興を目指し、一九八一年十二月に旗揚げされた非営利の団体です。会員は選手、指導者をはじめ、一般のスポーツ愛好者、研究者、ボーッビジネスにかかる企業関係者など、男女を問わずさまざまな分野にわたっています。ボランティア

一九八〇年夏にサンフランシスコのWSF事務局を訪れたのが、交流のキッカケです。米国WSFは教育のための非営利法人として認められており、「日本にも同様の組織を作りたい」とオーチンクロス事務局長に相談したところ、「できる限りの協力をしましよう」という心強い回答をいただきました。具体的にはロゴマークの無料使用（現在使用中のマーク）と、情報提供です。

「何の後ろ楯もない私に対し、喜んで賛同してくれたトップスポーツウーマンは、外国人だけ。日本に帰つてきたら、ほとんど相手にされなかつた」とは、現代表の三ツ谷さんの述懐。

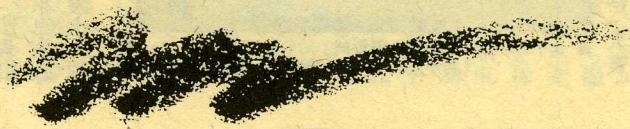
入会金

年会費

賛助会員…	5万円	10万円（一口）
団体会員…	5千円	1万5千円
個人会員…	3千円	8千円

5千円

女性スポーツを応援しています。



スポーツビジネス総合シンクタンク

SPORTS 21®